

第 23 回 国分川調節池を育む会

日時：平成 27 年 7 月 12 日（日）

10 時 00 分～

場所：曾谷公民館

第 1、第 2 研修室

次 第

1. あいさつ

2. 全体会

- (1) 総合治水対策について (千葉県)
- (2) 今後の予定について (市川市)
- (3) 多目的広場の利用について (市川市)
- (4) ボランティア活動について (市川市)

3. 専門家からの講義

(千葉県大学大学院園芸学研究科 近江慶光氏)

4. 検討部会による検討

- (1) ボランティア活動について

5. 全体会

- (1) 検討部会からの発表
- (2) 専門家による講評

(千葉県大学大学院園芸学研究科 近江慶光氏)

<資料>

1. 国分川調節池上部活用事業 年度別区域図 (案)

2. ボランティア活動内容について

事務局 (市川市役所 公園緑地課)

TEL : 047-712-6366 (直通)

FAX : 047-712-6365

メール : midoriseibi2@city.ichikawa.chiba.jp

国分川調節池整備方針

○国分川調節池整備テーマ

人と生き物の輝く池を次の世代に手渡そう！

○整備基本方針

1) 地域を洪水の被害から守り、治水に対する理解を深める

- ・洪水の危険から地域を守る治水機能を確保する。
- ・日常の利用により、治水の重要性を知り、興味を育む場、一人ひとりの取り組みかたを知る場とする。

2) ふるさとの自然を復元し、子どもたちや次の世代へと伝える

- ・自然ネットワークの大拠点となる豊かな自然を復元する。
- ・さまざまな生き物を育む、多様な環境を復元する。
- ・川の水質改善など、自然のもつ機能を発揮させる

3) 人と人、人と自然のふれあいを育む

- ・子どもたちが、ふるさとの自然と自由にふれあえる場とする。
- ・懐かしさを感じる風景の中で、穏やかに過ごすことのできる場とする。
- ・子どもから高齢者等まで、世代を越えた様々な人々の交流の場とする。

4) 緑豊かな木々に彩られた、雄大で多様な水辺の風景をつくる

- ・市川の原風景を感じる場とする。
- ・周辺から見える緑を増やし、住環境の向上に役立てる。
- ・自然と調和する施設整備を行う。

5) イベントや運営への参加を通じて、国分川調節池への愛着を育む

- ・市民の知恵と経験を活かしつつ、市民と行政のパートナーシップに基づく管理を行う。
- ・管理費用の抑制に配慮した整備を行う。

国分川調節池上部活用事業 年度別区域図 (案)

平成27年度育む会の予定

H27.7
ボランティア活動について

H27.10頃
下池散策・休息広場の設計について

H28.1頃
下池散策・休息広場の設計の報告



ボランティア活動内容について

1. ボランティア活動及び自然観察会実施の報告

日時 : 5月30日(土)

午前9時～午前10時 草刈活動 @多目的広場(北側)

午前10時～午前11時 自然観察会 @多目的広場、散策・休息広場、
市道2038号桜並木

参加者: 育む会会員有志、市内少年野球チームの子供たち等(約90名)

目的 : 多目的広場開園(9月)までの間、ボランティア活動して草刈を定期的に行
っていただくことで、広場を良好な状態に保ち、国分川調節池緑地に愛着を
持ってもらう。また、活動後の楽しみとして、自然観察会を実施する。

2. ボランティア活動の意義

- ・会員同士での交流が活発になることで、地域の活性化につながる。
- ・定期的に地域住民の手が入ることで、防犯効果が期待できる。
- ・自らの意志で好きな活動を行うことで達成感や充実感を得て、心豊かな暮らしを実現する。

3. 皆様に検討していただくこと

(1) 10月頃に実施するボランティア活動・イベントについて

①各自が考えてきた案を検討部会で順番に発表する。その他にも、本日の講義を聞いて思いついたアイデア、自分の体験等を含め、自由に発表する。

- ・活動(イベント)名
- ・活動(イベント)の概要、目的
- ・活動(イベント)の開催場所
- ・対象年齢層

②それぞれの案について質疑応答を行う。

※部会長は、部会ごとに考えていただいた内容を発表する。

(2) ボランティア活動・イベントを考えていただく上でのポイント

- ①まずは簡単に実施できるものから始めてみる。
- ②「自然」、「空の開けた広大な空間」に着目。

4. 今後の予定

- (1)本日出た案を役員会で検討
- (2)ボランティア活動・イベントの実施